



# 碧南ロータリークラブ週報

第2194回例会 平成15年10月8日(水) 曇.最高21.8℃.最低14.2℃

- 会長 加藤 良邦 ● 幹事 竹中 義雄 ● SAA 杉浦 成人
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90  
TEL <0566> 41-1100 FAX <0566> 48-1100  
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>  
E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)
- 会報委員 竹下 豊・新美惣英・鶴田光久・杉浦昌裕

2003~2004年度  
国際ロータリーのテーマ

手を貸そう



Lend a Hand

## ● 齊唱

ロータリーソング「我らの生業」

## ● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

## ● 本日のお客様

地区米山奨学会委員長 東知多RC 加藤知成様  
半田RC 大岩武久君

## 会長挨拶



池田弘孝会長エレクト  
加藤知成米山奨学会委員長

皆様、こんにちは。今日は少しどんよりとした天気ですが、大変過ごしやすい季節になってまいりました。先週はガバナー補佐の訪問に当たり、関係各位の皆様方には長時間に渡り、クラブ協議会・例会とお努めいただき、誠にありがとうございました。深く感謝申し上げます。

私共僧侶が厳粛な法要を執り行う時に着ける衣装を「正厳衣」と呼びます。身近なところで言いますとお葬式の時に導師が着ける衣装がそれでございまして、総本山の大法要の時には多数の僧侶が正厳衣を着けて本堂に参集致します。

37年ほど前、私が22才の時、ある檀家の方から大学卒業のお祝いに西陣織の素晴らしい正厳衣を頂戴しました。朝昼晩三食付き寮の費用が月に8,000円だった当時、700,000円もしたそうでございます。私はびっくりして、親父に「こんなことをしてもらって俺には何のご恩返しも出来ない、本当に頂いてもいいのか?」と聞きましたら、「喜んで貰っておけ、ご恩返しということは考えずに、これを頂いたということを忘れなければそれでいい」と言ってくれました。

30数年たった今でもお寺の什物として大切にさせていただいているが、私も年をとり鮮やか色が似合わなくなってしまいましたので、修復をして現在は息子に着けさせています。その袈裟を見るたびに当時のことを思い出し、感謝の気持ちで胸が熱くなります今日この頃でございます。ありがとうございました。

## 幹事報告

他クラブの例会変更につきましてはお手元の資料の通りでございます。

先週、第4回理事会が開催されまして、その内容についてご報告申し上げます。

9月の収支につきましては、原案通り承認されました。

役員、理事の選任について、次年度の役員、理事に受け継ぐということで動き出しました。10月15日～10月28日の2週間の間役員、理事の立候補者を事務局の方で受け付けされます。

家族会の日程が変更になりました。当初12月20日でしたが、会場の方の事情によりまして12月

21日（日）の午後の5時30分から衣浦グランドホテルにて、クリスマス会として開催されます。出来るだけ多くの方にご出席いただきたいと思います。

その他の項目で愛知万博のロータリー館建設にともなう、寄付金として、今年と来年で7千円づつの寄付金をクラブで取り扱う。この件に関しましては次回の理事会で検討していきます。

世界大会の参加について、国際奉仕委員会でご検討いただきますが、来年5月24日～27日までの4日間です。世界大会にどういうふうに参加するか碧南クラブとしてもまとめていきたいと思っています。以上でございます。

本日、例会の終了後、205号室において45周年の実行委員会のリーダー会議を開かさせて頂きます。すでに組織表を配らせていただいております。ご担当の方は是非ご出席をして頂きたいと思います。

11月8日、9日地区大会が開催されます。ご登録されている方には交通手段のアンケート、そして懇親会の出席のお伺いを出さして頂いています。これもご提出お願いします。

次週はガバナーの公式訪問ということになっています。衣浦グランドホテルにて開催されますので、お間違いないようお願い致します。

翌々週ですが、10月22日水曜日は、インフォーマルミーティングとなりますので午後5時30分から衣浦グランドホテルで行います。

そして29日が職場例会となっております。お間違いないようお願いしたいと思います。

## 職業奉仕委員会

### 職業宣言の朗読

## 委員会報告

### 〈出席奨励委員会〉

総会員数 75名 (内出席免除者 14名) 出席者63名	
出席対象者 54／61名	出席率 88.52%
欠席者12名(病欠者1名)	前々回修正出席率 96.72%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

### 〈ニコボックス委員会〉

- 卓話の講師 地区米山奨学委員長 加藤知成様よりニコボックスを頂戴しました。又、卓話のお礼までニコボックスに頂きました。
- 加藤 良邦君 先週ガバナー補佐訪問、クラブ協議会皆様のご協力を頂き無事終わりました。有難う御座いました。
- 竹中 義雄君 先週のガバナー補佐訪問、そしてクラブ協議会、皆様のお陰にて無事終える事が出来ました。有難う御座いました。
- 木村 克美君 本日の卓話の講師を紹介させて頂きます。米山月間につき。
- 黒田 昌司君 鈴木並生さんにお世話になりました。  
長女が公認会計士2次試験に合格しました。
- 犬塚 敦統君 10/4（土）碧南市消費生活30周年記念総会で、講演をさせて頂きました。
- 杉浦 昌裕君 石川八郎右衛門様、榎原義嗣様にお世話になりました。ありがとうございました。
- 水野 宏幸君 先日はクロタ精工鈴木社長様に南愛知C.Cでご指導頂有難うございました。
- 清澤 聰之君 宝物堂が完成し、無事承認頂きました。有難う御座いました。

早退 6件 合計40,000円

### 〈環境保全委員会〉

碧南市の緑の募金委員会より緑の募金活動の協力依頼が参っております。今回は平成15年度秋の運動です。この運動は年2回ございまして、もう一回は春4月1日からになっております。この運動の趣旨、目的は「将来にわたって豊な緑と水に恵まれた生活を維持出来るように」という

ことで全国にわたって展開されてます。当ロータリークラブの環境保全委員会といたしましても、この趣旨、目的に賛同しまして、この募金活動を展開してまいります。是非ご理解のうえ、ご協力をお願い致します。

尚、後ほど皆様のテーブルの方に緑の羽根と募金箱が回っていきます。羽根を1本取って、志の募金をお願いする次第でございます。

## 卓

## 話

### 「米山奨学会の現状」

R・I. 第2760地区 米山奨学会委員会委員長 加藤知成氏

本日は、米山月間に際しまして、貴重なお時間を頂戴致しまして有難うございます。平素は、米山奨学会に対しまして、過分なご理解とご協力を頂きまして有難うございます。島津理事長に成り代わりまして厚く御礼申し上げます。

さて、本日は米山奨学会の現状につきまして、お話申し上げ、ご理解をいただきまして、米山奨学会へのご寄付をお願い申し上げます。今年は、奨学会の評議員でもあられます豊島ガバナーからも、「米山基金」として、奨学会が誕生して、満50年に当たる記念すべき年であり、普通寄付を5000円以上に、特別寄付金は前年度を下回らないように…との厳しい発破をかけられておりますので、何卒、よろしくお願い申し上げます。

それでは、お手元にお配り致しましたワークブックをご覧下さい。9ページを開けて頂きますと、奨学会の財政状況の説明がございます。デフレ経済を反映してか、会員数の減少が寄付金収入の減少を招いています。このことは、当2760地区にもあてはまります。

当地区は、総額においては、第4位ですが一人当たりになりますと、34地区中第13位まで落ちてしましました。このことは次年度の奨学生採用枠に大きく影響します。と申しますのは、4ページをご覧いただきますとお分かり頂けますが、今年から奨学会のベースはロータリアンの寄付にあると言う観点に立って、個人平均寄付額と留学生数との割り振りを7対3と改正されましたので、次年度当地区のお世話をすると21名になってしまいました。もう一度9ページに戻って頂きますと、寄付金は全て留学生支援に使われていると書かれていますが、皆さんからの寄付金だけでは、奨学生を貢献しないとも書いています。おまけに、低金利時代を反映して利息収入もままならず、今年度は寄付金の不足分と会合費などの管理費のために特別積立金を大きく取り崩さなければならぬと訴えています。今まで、毎年1000名の奨学生を採用してきました米山奨学会も、民間最大の留学生支援団体としての座がグラつき始めたことを物語っています。

そこで編み出されたのが、程遠い米山功労者から身近な米山功労者への制度変更であります。12ページをご覧ください。米山功労者表彰が10万円から行われることになりました。準功労者制度は無くなりました。従いまして、15万円で準功労者の方は、あと残り5万円を納めて頂きますと、マルチプル功労者になられることになります。ご寄付を重ねられて、100万円を超えると、メジャードナー功労者になられます。感謝状は10万円単位で頂けますが、表彰品は30万円単位でしか頂けないようになっています。これは、私の推測ですが、理事さん達がこれまで30万円納められた功労者の皆さんに気配りされたのだろうと思います。10ページを開かれると寄付金のことが書いてあります。特別寄付金には、制限がございませんのでいくらでも結構ですので、クラブを通して送金され、FAXで送金明細をご連絡してください。尚、ご寄付は個人別に記載しておりますので、クラブを変わられても、その旨ご連絡を頂ければ、加算して表彰対象とする



ことになっています。

当地区は、万博や世界大会への寄付・寄付と寄付が重なっていますので、ともすると、米山奨学会への寄付が忘れられてしまうのではないかと心配になりましたので、ついついお金の話ばかりしてしまいました。申し訳ありません。

さて、それでは、6ページをお開き下さい。奨学生の選考制度について書かれています。前年度から大学推薦制度が実施されましたので、学生の質は、格段に上がったとのことです。確かに、面接をしても、甲乙つけ難いものがあります。書類を書かせても、日本人顔負けですし、使命感や生活態度においても國土としての自覚があるように思います。こういう人達をみておりますと、日本の将来一いや、日本人の将来に不安を抱きます。

大学推薦制度とさらりと言ってしまいましたが、地区米山奨学会委員会の中にあります、選考委員会が、あらかじめ2760地区内の大学の中から指定校を選定してその指定校から奨学生の推薦をうけるわけです。ですから、指定校の指導教官の推薦理由もハッキリしていますので奨学生が優秀なのは当然と言えば当然なんです。今年の指定校の基準は留学生45人以上、内修士課程と博士課程合わせて5名以上といたしました。すでに、ホームページに掲載されました。指定校が決まりますと、5ページの手順に従って選考が始まるわけです。

選考が終わり、奨学生が決まりますと、どこのクラブでどの奨学生をお世話頂くかを地区委員会で検討しある願いするようになるわけです。米山奨学制度の特徴は、世話クラブとカウンセラーアイド制度にあり…と言われています。遠く母国を離れて異郷の地に住む者にとって、これほど有難い奨学制度は、世界広しといえども他にないんじゃないかなと思います。地区委員会と致しましても、奨学生からのクラブ訪問時の話を時々聞かして頂きますが、彼らには皆さんとの触れ合いが、かなり励みになっているようです。「私も国に戻ったら、ロータリアンになりたい」という奨学生が多いのです。

奨学期間を終えますと、彼らは学友会に入会します。地区には、奨学期間を終えても学友としてお世話をしている機関があります。年間に4回程集まって情報交換会をしていますが彼らの成長ぶりには驚かされます。

皆さんの淨財は、確実に生きています。これから更に大きく成長していくと確信を持って言うことができます。米山奨学会への寄付は、日本の将来への(LEND A HAND)になります。

皆さん、進んで米山功労者に、さらにマルチプル功労者に、メジャードナー功労者になって下さい。

今日は貴重なお時間を頂戴致しまして、米山奨学会のアピールをさせていただきまして有難うございました。会員の皆様のご繁栄を心からご祈念申し上げまして終わりとさせて頂きます。どうも、有難うございました。

## 追記

来る11月15日（土曜日）カウンセラーアイド制度の充実を図るためカウンセラーレンジ会を実施致します。場所はキャッスルプラザホテル 時間は11時から13時の予定です。

次回例会案内／10月22日（水）「インフォーマルミーティング」  
PM：5：30～ 衣浦グランドホテル